



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年7月30日

上場会社名 日本精蠟株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 泰邦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 細田 八朗 TEL (03) 3523-3530
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 平成22年9月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期 第2四半期の業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	16,463	58.1	1,376	—	1,372	—	812	—
21年12月期第2四半期	10,410	—	△1,514	—	△1,643	—	△973	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	36 30	—
21年12月期第2四半期	△43 50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	27,479	9,006	32.8	402 22
21年12月期	29,132	8,316	28.5	371 42

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 9,006百万円 21年12月期 8,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	5 00	5 00
22年12月期	—	3 00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	6 00	9 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,590	36.0	2,530	—	2,430	—	1,435	—	64 09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他(詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年12月期2Q	22,400,000株	21年12月期	22,400,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

22年12月期2Q	9,034株	21年12月期	9,034株
-----------	--------	---------	--------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

22年12月期2Q	22,390,966株	21年12月期2Q	22,390,966株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年1月1日～平成22年6月30日)のわが国経済は、中国をはじめ新興国の経済発展に伴い輸出が増加してきたものの、依然として内需に本格的改善の兆しが見られず、景気の先行きは欧州の財政不安や円高の長期化等の懸念材料も相俟って予断を許さない状況が続いています。当社の収益に大きく影響する原油相場は、年初から再び騰勢を強め当第1四半期末の84ドル/バレルを上限に下落に転じ第2四半期末にかけて75ドル/バレル前後で推移しました。また、外国為替相場は年初の90円/ドル前半から徐々に円高が進み、当第2四半期末には88円/ドルをつけるに至りました。

このような状況の中で、当第2四半期会計期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)の業績は、当第1四半期会計期間(平成22年1月1日～平成22年3月31日)に引続き堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間(平成22年1月1日～平成22年6月30日)の実績は、前年同期に比較して大幅な増収増益となり、売上高では6,052百万円増の16,463百万円、営業利益で2,891百万円増の1,376百万円、経常利益で3,016百万円増の1,372百万円、四半期純利益では1,786百万円増の812百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1,671百万円減少の12,350百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少640百万円、原材料及び貯蔵品の減少826百万円、未収消費税等の減少413百万円、繰延税金資産の減少284百万円、現金及び預金の増加686百万円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて19百万円増加の15,129百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて1,652百万円減少の27,479百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて1,699百万円減少の12,180百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少2,054百万円、短期借入金の減少318百万円、未払金の増加304百万円、未払法人税等の増加190百万円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて642百万円減少の6,293百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少687百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて2,342百万円減少の18,473百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて689百万円増加の9,006百万円となりました。これは利益剰余金の増加700百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比較して686百万円増加し、当第2四半期会計期間末残高は1,612百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,074百万円(前年同期比1,209百万円減)となりました。これは主と

して、税引前四半期純利益1,361百万円、減価償却費426百万円、売上債権の減少額640百万円、たな卸資産の減少額720百万円、仕入債務の減少額2,054百万円、未収消費税等の減少額413百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、332百万円(前年同期比47百万円増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得331百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,051百万円(前年同期比936百万円減)となりました。これは主として、短期借入金の純減額177百万円、長期借入金の返済額757百万円、配当金の支払額112百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、本日(平成22年7月30日)別途発表の「平成22年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

④ 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額を計上する方法によっております。

⑤ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度末の検討において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを使用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項なし

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項なし

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,612	925
受取手形及び売掛金	3,929	4,570
商品及び製品	4,019	3,914
原材料及び貯蔵品	2,597	3,423
前払費用	75	86
繰延税金資産	73	358
未収消費税等	—	413
その他	45	333
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	12,350	14,021
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	783	721
構築物(純額)	972	993
機械及び装置(純額)	2,654	2,921
土地	9,248	9,248
建設仮勘定	814	446
その他(純額)	103	105
有形固定資産合計	14,577	14,436
無形固定資産	34	36
投資その他の資産	518	638
固定資産合計	15,129	15,110
資産合計	27,479	29,132
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,363	3,418
短期借入金	8,893	9,212
未払金	750	446
未払法人税等	190	—
預り金	428	409
賞与引当金	36	36
修繕引当金	25	175
設備関係支払手形	332	148
その他	160	33
流動負債合計	12,180	13,880
固定負債		
長期借入金	2,541	3,228
リース債務	20	21
再評価に係る繰延税金負債	3,490	3,490
退職給付引当金	241	195
固定負債合計	6,293	6,935
負債合計	18,473	20,816

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120	1,120
資本剰余金	14	14
利益剰余金	2,751	2,050
自己株式	△3	△3
株主資本合計	3,882	3,181
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	4
土地再評価差額金	5,130	5,130
評価・換算差額等合計	5,123	5,134
純資産合計	9,006	8,316
負債純資産合計	27,479	29,132

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	10,410	16,463
売上原価	10,841	13,898
売上総利益又は売上総損失(△)	△430	2,564
販売費及び一般管理費	1,084	1,188
営業利益又は営業損失(△)	△1,514	1,376
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
受取賃貸料	31	32
受取保険料	18	5
為替差益	—	65
その他	18	42
営業外収益合計	75	151
営業外費用		
支払利息	131	120
為替差損	41	—
その他	30	34
営業外費用合計	203	155
経常利益又は経常損失(△)	△1,643	1,372
特別損失		
固定資産除却損	4	9
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	4	11
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,647	1,361
法人税等	△673	548
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△973	812

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△1,647	1,361
減価償却費	393	426
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	—
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△150	△150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22	46
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	131	120
固定資産除却損	4	9
為替差損益 (△は益)	76	△66
ゴルフ会員権評価損	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	1,369	640
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,350	720
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12	△2,054
未払金の増減額 (△は減少)	221	250
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	413
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△367	68
その他	59	126
小計	3,391	1,909
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△132	△122
法人税等の還付額	20	281
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,284	2,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△284	△331
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284	△332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,176	△177
長期借入金の返済による支出	△673	△757
配当金の支払額	△134	△112
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,987	△1,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,007	686
現金及び現金同等物の期首残高	416	925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,423	1,612

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし